

医学部同窓会便り



＜28年卒業生の皆様方へ＞
 医師国家試験卒業生全員合格おめでとうございます
 70周年を契機に母校の新たな創造者となられた皆様方に敬意を表します。

平成27年度卒業生に贈る言葉 (卒業式祝辞より平成28年3月15日)



本日、ここに平成27年度卒業を迎えられた卒業生の皆様、長い間の精励努力が実を結び、晴れてめでたくご卒業されましたことを心からお祝いとお喜びを申し上げます。又、本日、出席頂いております御家族の皆様におかれましてもお喜びも如何ばかりかと、ご拝察申し上げます、お喜び申し上げます。併せて、卒業生を今日まで育てて頂きました教職員始め関係者の皆様に医学部同窓会を代表いたしまして、深い敬意を表し、心よりお礼と感謝を申し上げます。



私も42年前に本学を卒業した同窓生の一人です。こうして壇上から皆様を拝見させていただきますと、当時を思い出して、感慨もひとしおです。

和歌山県立医科大学は昨年創立70周年を迎えましたが、医専時代を含め4000名を超える卒業生を輩出し、皆様の先輩は、基礎、臨床、公衆衛生、医療活動等様々な分野で活躍し、和歌山県を始め全国各地で医師として地域医療に貢献されています。

この間、私達同窓会は大学の統合移転という四半世紀にわたる再建整備構想に協力しました。多くの同窓先輩諸氏が母校の教育・研究・診療などの環境を改善整備するために、大学教職員・学生のみならず和歌山県そして県民、県内外の多くの医療関係者と協働し、この紀三井寺の地に統合移転が17年前の平成11年に成し遂げることができました。

この中で、和歌山県立医科大学先輩諸氏により築き上げられた歴史伝統は、崇高な理想を、強い意志、意欲を持ってして団結し、不屈の力で実現させたことです。また、本学は創生期より教職員と学生との距離が近く、先輩・後輩の繋がり・絆を大切にする伝統文化が脈々と受け継がれてきています。

昨年11月1日に開催された創立70周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会は、『オール和医大・オール同窓会体制』を合言葉に、大学教職員・事務局・医学部同窓会・保健看護学部同窓会の協働により一体となって執り行われました。

記念祝賀会では、医学部・保健看護学部の多くの学生の皆さんが参加、その若さ溢れる躍動感を演出披露し、20年・30年先の未来を見据えた思い・決意を語って頂いたことは、大学教職員、大学関係者、同窓先輩諸氏に新しい息吹・感銘・期待感を与え、将来の母校の発展に繋がる大きな礎となり、和医大の歴史に深く刻み込まれることになるでしょう。

皆さんは、これからは医師としてこの和歌山県立医科大学を卒業したという自信・誇りを持って、同窓会の一員として母校の発展・地域医療の発展のために、貢献できる医療人として成長することを願っています。

そして、皆さんにまずお話したい最も大切なことは、医学医療は人を対象とするが故に、生涯にわたる自己研鑽による知識・技術・豊かな人間性を患者さんに奉仕することにあります。いわゆる全人医療を目指して頂きたいと思っております。これには医師一人では出来ません。医療に関係する多くの職種のチームワークが必要です。

もうひとつ申し上げたいことは、医師という道を選び、自らの人生を爽り多く、輝かしいものにするためには、まず自らが健康でなくてはなりません。健康は活動の基盤であり、健康無くしてはどんな高い希望を持っても成就することはできません。日々、心身の健康を保つべく、自らを律し、努力して欲しいと思っております。

また今の自分があるのは、両親を始めとするご家族の支えであり、共に学んだ仲間や大学でのクラブ活動を共にした先輩後輩など、これまで人生の中で出会った多くの人々や、医学の道を導き指導を頂いた教職員の力があつたことは忘れることができないでしょう。

最後になりましたが、同窓会へのご支援ご協力に心から感謝致しますと共に、卒業生の皆様並びにご家族の皆様、大学の教職員、ご臨席賜りました関係者の皆様方のご健勝ご多幸、そして大学のさらなる発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。

和歌山県立医科大学医学部
 同窓会 会長 宇野 英明

平成28年卒業生謝恩会にて(3月15日)



謝恩会では楽しいひと時を過ごさせていただきました。

学生会員から同窓会員へと新たな門出は、先輩として後輩へと繋ぐスタートでもあります。

謝恩会でお願いしたことまた多くの方とお約束したこと忘れることなく、後に続く学生の範となり和医大卒業生の誇りを持って研鑽されることを願っています。



今年は2名の方に医学部同窓会長賞が授与されました。



入学式に出席して(4月12日)



学生の皆様と距離を出来るだけ近く触れ合える同窓会として活動しています。

学生生活をいかに有意義に過ごすかは、皆様の将来を大きく左右する大切な6年間だと思います。

そのために母校創立70周年を契機により各範な学生支援を模索しているところでございます。

卒業生は、学生から先輩としての自覚を持って在学生の範となって今後の研修に励んでいただきたいと思ます。

同窓会とは、兄貴心で後輩と接し、母校の最大の理解者として連携し、時には苦言を呈しながらも「和歌山県立医科大学」の発展を願う会でもあります。

和歌山県立医科大学StudentDoctor称号授与式(4月18日)



同窓会の運営は皆様方の年会費・入会金にて運営されています。ご理解とご協力よろしくお願いたします。

会長・副会長会 4月14日

去る4月14日図書館の会議室をお借りして会長副会長会が開催された。

宇野英明会長、宮下和久、坂口雅宏両副会長に加え70周年記念事業の収支決算のこともあり、吉村理事(70周年事業会計委員長)にも出席をしていただき意見交換が行われた。



1. 第16回和歌山県地域医療フォーラム
2. 大学創立70周年事業について
3. 名簿発刊状況
4. 平成26年度年会費の納入状況
5. 学生課外活動について
6. 会誌9号について
7. 評議員役員改選
8. 同窓会役員体制について